

言語聴覚療法

(言語聴覚士)



赤ちゃんから高齢者まで、「ことば」「聞こえ」「飲み込み」の障害のある方に、検査、訓練、専門的な指導・援助を行なうことで、よりよい生活が送れるよう支援しています。

● ことばの問題

- ・ことばが遅れている
- ・脳卒中などの後遺症で、ことばが出てこない、理解できない
- ・発音がうまくできない
- ・声がかすれる

● 飲み込み（嚥下）の問題

- ・食べ物・飲み物が飲み込めない
- ・食べるとムせてしまう

● 聞こえの問題

- ・音が聞きにくく、会話が困難
- ・生まれつき音が聞こえないため、ことばが育たない
- ・補聴器がうまく使えない

- このほか、自閉症、認知症、高次脳機能障害などによる、コミュニケーションをはじめとするさまざまな問題についても、言語聴覚士が支援を行なっています。

県立広島大学 保健福祉学部 附属診療所センターでは、「言語聴覚士」の資格をもつ教員が、それぞれの専門分野での言語聴覚療法を提供しています。

リンク

- 県立広島大学 コミュニケーション障害学科では、言語聴覚士の養成を行なっています。
→ [コミュニケーション障害学科ホームページ](#)
- 言語聴覚士について、くわしくは・・・
→ [日本言語聴覚士協会ホームページ](#)
- 広島県で、言語聴覚療法が受けられる施設
→ [広島県言語聴覚士会ホームページ](#)